

保育所及び認定こども園における職員配置に係る特例について

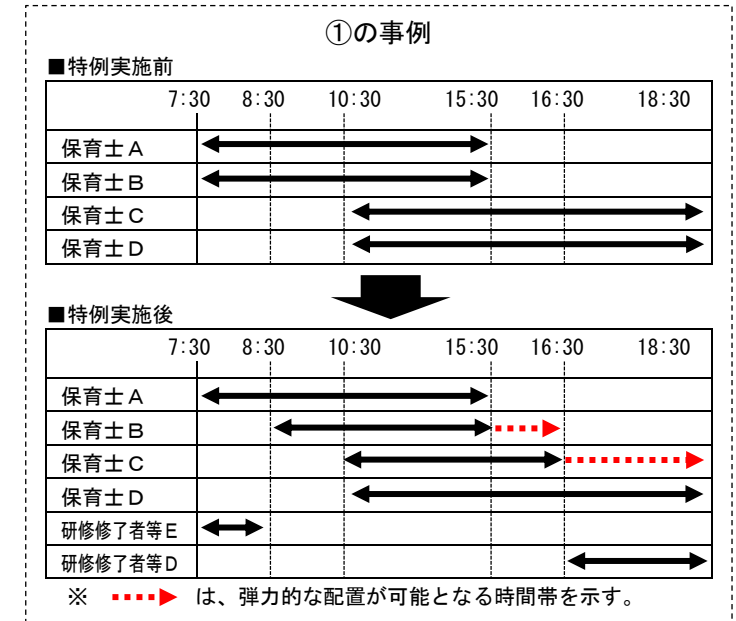
① 子どもが少数となる時間帯における職員配置の特例

- 条例において、保育士は最低2人を配置することになっている。

【北海道児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例】

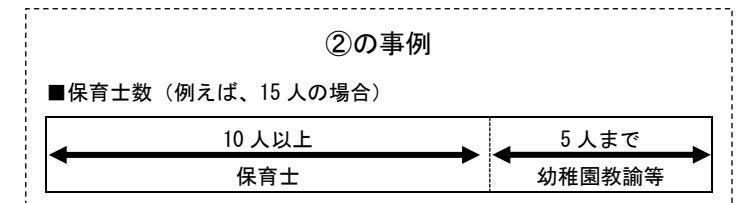
第47条第2項 保育士の数は、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上満3歳に満たない幼児おおむね6人につき1人以上、満3歳以上満4歳に満たない幼児おおむね20人につき1人以上、満4歳以上の幼児おおむね30人につき1人以上とする。ただし、保育所一につき2人を下ることはできない。

- 特例では、年齢別で定める配置基準により算定される保育士の数が1人となる時間帯に限り、保育士1人に加え、もう1人は、保育士資格を有しない一定の者を配置可能とする。
ただし、保育士資格を有しない一定の者については、子育て支援員研修を修了した者など、知識及び経験を有すると知事が認める者に限ることとする。



② 幼稚園教諭及び小学校教諭並びに養護教諭の活用に係る特例

- 幼稚園教諭及び小学校教諭並びに養護教諭の免許状を有する者を、保育士数の3分の1を超えない範囲内に限り、保育士に代えて活用することができることとする。



③ 加配人員の配置に係る特例

- 11時間開所で8時間労働としていることなどにより、利用定員の総数に応じて置かなければならない保育士数を上回って配置する者について、保育士資格を有しない一定の者を活用することができることとする。ただし、この場合においても、保育士数の3分の1を超えない範囲内に限ることとする。

